



初笑い 芝居「どろぼうがっこう」上演



17日、昨年から延期になっていた図書委員会の『どろぼうがっこう』を上演しました。役者の図書委員はもちろん、観客の子どもたち



の大歓声が沸き立ち、盛り上がった芝居になりました。

★冬休みの親子読書より★ 子どもたちの感想

1年 『からすのパンやさん』

いろんなパンがおいてあっておいしそうでした。からすのあかちゃんがうまれてたいへんそうでしたが、さいごはおきやくさんがたくさんきてくれてよかったです。

2年 『おじいちゃんがおぼけになったわけ』

なくなったおじいちゃんがこのよにわすれものをして、おぼけになってそれをさがしていたけど「さようなら」をわすれていたことに気がついて、ぼくはかんどうしました。

3年 『四つ子ぐらし①②』

初めて会った四人はとても顔がにている、「生まれた時から四つ子じゃないの?」と思いました。一番心に残ったのは知らない人に立ち向かったことです。私にはできないけど四つ子たちはすごい!

4年 『それいけズッコケ三人組』

一人一人がとてもおもしろいことをするから、おもしろい三人組だし、アホっぽいところもある三人組だなと思いました。

5年 『アンネ・フランク』

戦争の学習をしたので、他の国の戦争にスポットライトをあてました。戦争で辛い思いをしたのは、日本だけではないと思いました。

6年 『こんぴら狗』

江戸時代に江戸から讃岐まで人間が行くのも大変だったはずなのに、犬が代わりにお参りしてくる事に驚きました。そして作り話ではなく、実際にこんぴら参りを犬にさせることがあったことを初めて知りました。私もムツキが登ったあの階段をいつか登ってみたいと思いました。



川島隆太
エッジ
スニ著

話題作! 「読書がたくましい脳を作る」

脳神経科学研究から、読書習慣がある子どもは、きちんと寝て、食べていればすごい努力をしなくても、平均以上の成績になる傾向を、調査結果も見せながら、図や絵も入れて、子ども向けにわかりやすく科学的に解説。

1月30日(木)

うち読のすすめ

- ①麻里布っ子みんなでやる
 - ②宿題なしで読書
 - ③ノーテレビ、ノーゲーム
 - ④おうちの人も協力
- ★うち読カード(緑色)の提出1月31日(金)です。